2014年度「研究部会活動記録」

現代政治経済研究所

部会主任名	上田貴子	研究部会名	女性と経済学 研究部会
研究課題： 日本の若手・女性経済研究者の現状と課題分析			
月/日	活 動 記 録		
5/20	・論文報告研究会、報告者：名古屋大学経済学研究科・講師 角谷快彦氏、報告課題：Contact and Threat: Factors Affecting Views toward Immigration in Japan		
5/20-28	・米国コロラド大学経済学部准教授Terra G. McKinnish氏招聘(一橋大学・大阪大学共催)		
6/3	・論文報告研究会、報告者：千葉経済大学・経済学部・准教授 東美鈴氏、報告課題：The Effect of Informal Elder Care on Nursing Home Transitions and Mortality		
6/26-28	・大学院生研究協力者・高垣勝彦氏 IAAE 2014 Annual Conference International Association for Applied Econometrics, Queen Mary University of London にて論文報告、報告論題：A dynamic econometric system for the Yen-Dollar rate, IAAE Student Prize受賞		
9/3-6	・大学院生研究協力者・高垣勝彦氏 4th Conference of the European Asian Economics, Finance & Accounting and Econometric Association, Malaysia にて論文報告、報告論題：Money demand and zero-interest rate policy: A lesson from Japan		
11/12-17	・米国インディアナ大学経済学部教授Yoosoon Chang 氏招聘(一橋大学共催)		
12-2月	・大学院生研究協力者・孫豊葉氏と部会主任：上田貴子との共著論文：Intergenerational earnings mobility in Taiwan が査読付き学術専門誌 <i>Economics Bulletin</i> に掲載受諾され、最終版を提出。		
1/1-8	・部会主任：上田貴子 米国経済学会女性支援委員会(CSWEP)メンタリング・セッション(CeMENT)視察、米国・ボストン		
2/5-12	・オーストラリア University of Technology Sydney, Senior Lecturer, 丸山士行氏招聘(北海道大学共催)		
来年度の活動計画	科学研究費（基盤（B））の研究活動と関連しながら、文部科学省「学校基本調査」「学校教員調査」個票データ分析を進め、研究成果を論文にまとめる。また、国内外の研究者の研究報告セミナー招聘を行う。		
終了の場合	研究成果刊行の時期： 年 月（予定） 研究成果の公開方法：		